

CASBEE-新築(簡易版)2010年版

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010

パナソニック フォト・ライティング 久美浜 株式会社 社屋作業場 新築工事

■評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.2)

スコアシート		基本設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.7</b>
<b>Q1 室内環境</b>								<b>3.3</b>
<b>1 音環境</b>				<b>3.0</b>	0.15	-	-	<b>3.0</b>
<b>1.1 騒音</b>				<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 室内騒音レベル				<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-	
2 設備騒音対策				-	-	-	-	
<b>1.2 遮音</b>				<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能				<b>3.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	-	
2 界壁遮音性能				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	
<b>1.3 吸音</b>				<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-	
<b>2 温熱環境</b>				<b>3.0</b>	0.35	-	-	<b>3.0</b>
<b>2.1 室温制御</b>				<b>3.0</b>	0.50	-	-	
1 室温				<b>3.0</b>	0.38	<b>3.0</b>	-	
2 負荷変動・遅延制御性				-	-	-	-	
3 外皮性能				<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	-	
4 ゾーン別制御性				<b>3.0</b>	0.38	-	-	
5 温度・湿度制御				-	-	-	-	
6 個別制御				-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮				-	-	-	-	
8 監視システム				-	-	-	-	
<b>2.2 湿度制御</b>				<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-	
<b>2.3 空調方式</b>				<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-	
<b>3 光・視環境</b>				<b>3.1</b>	0.25	-	-	<b>3.1</b>
<b>3.1 屋光利用</b>				<b>3.4</b>	0.30	-	-	
1 屋光率				<b>3.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	-	
2 方位別開口				-	-	<b>5.0</b>	-	
3 屋光利用設備			外壁の南、東の両面に窓がある	<b>4.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	-	
<b>3.2 グレア対策</b>				<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1 照明装置のグレア				-	-	-	-	
2 屋光制御				<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-	
3 映り込み対策				-	-	-	-	
<b>3.3 照度</b>				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	-	
<b>3.4 照明制御</b>				<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	-	
<b>4 空気質環境</b>				<b>4.4</b>	0.25	-	-	<b>4.4</b>
<b>4.1 発生源対策</b>				<b>5.0</b>	0.50	-	-	
1 化学汚染物質			建築基準法を満たしており建築基準法規制対象外となる建築材	<b>5.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-	
2 アスベスト対策				-	-	-	-	
3 ダイオキシン対策				-	-	-	-	
4 レジオネラ対策				-	-	-	-	
<b>4.2 換気</b>				<b>3.6</b>	0.30	-	-	
1 換気量				<b>3.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-	
2 自然換気性能				<b>3.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-	
3 取り入れ外気への配慮			排気口のある外壁間は7m以上離して設置している	<b>5.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-	
4 給気計画				-	-	-	-	
<b>4.3 運用管理</b>				<b>4.0</b>	0.20	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視				<b>3.0</b>	0.50	-	-	
2 喫煙の制御			作業場全体の禁煙が確認されている	<b>5.0</b>	0.50	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-	<b>3.8</b>
<b>1 機能性</b>				<b>4.4</b>	0.40	-	-	<b>4.4</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>				<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 広さ・収納性			作業場1人当たりの作業スペース1.528㎡/20人=76.4㎡	<b>5.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-	
2 高度情報通信設備対応				<b>3.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-	
3 バリアフリー計画			建築物移動等円滑化基準の最低限基準を満たしている	<b>4.0</b>	0.33	-	-	
<b>1.2 心理性・快適性</b>				<b>4.3</b>	0.30	-	-	
1 広さ感・景観			作業場天井高さ3.05mで設計されている	<b>5.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-	
2 リフレッシュスペース			リフレッシュスペース1%以上を満たしている	<b>4.0</b>	0.33	-	-	
3 内装計画			内装仕上グリーンルーム仕様で設計されている	<b>4.0</b>	0.33	-	-	
<b>1.3 維持管理</b>				<b>5.0</b>	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計			内装仕上グリーンルーム仕様で設計されている	<b>5.0</b>	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保			専用の清掃用流しや水道を設置し清掃用資材倉庫を設置している	<b>5.0</b>	0.50	-	-	
3 衛生管理業務				-	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.0</b>	0.31	-	-	<b>3.0</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>				<b>3.0</b>	0.48	-	-	
1 耐震性				<b>3.0</b>	0.80	-	-	
2 免震・制振性能				<b>3.0</b>	0.20	-	-	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>				<b>3.1</b>	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				<b>3.0</b>	0.23	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				<b>3.0</b>	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			排気ダクトはガルバリウム鋼板ダクトを使用し長寿命化を図っている	<b>5.0</b>	0.08	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.15	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.23	-	-	

2.4 信頼性			3.0	0.19	-	-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	-
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	-
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	-
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	-
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性			3.9	0.29	-	-	3.9
3.1 空間のゆとり			4.2	0.31	-	-	-
1	階高のゆとり	階高は4.2mで設計されている	5.0	0.60	3.0	-	-
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	-	-
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	-	-
3.3 設備の更新性			4.4	0.38	-	-	-
1	空調配管の更新性	空調配管の天井内スペースを確保している	4.0	0.17	-	-	-
2	給排水管の更新性	構造部材を痛める事無く修繕・更新ができる	4.0	0.17	-	-	-
3	電気配線の更新性	構造部材及び仕上材を痛める事無く修繕・更新ができる	5.0	0.11	-	-	-
4	通信配線の更新性	構造部材及び仕上材を痛める事無く修繕・更新ができる	5.0	0.11	-	-	-
5	設備機器の更新性	設備機器の更新に対応したルート及び床配線用ハッチを設置	5.0	0.22	-	-	-
6	バックアップスペース	バックアップ設備の為にスペースが確保されている	4.0	0.22	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40	-	-	3.9
1 生物環境の保全と創出		敷地内に自然林を残し生物環境の保全と創出を維持している	5.0	0.30	-	-	5.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	工場敷地道路側に桜並木を植栽し近隣への景観を考慮している	4.0	0.50	-	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上	容積率24%及び緑地率40%を確保し暑熱環境を緩和している	4.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.2
1 建物の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			4.0	0.29	-	-	4.0
2.1	自然エネルギーの直接利用	採光利用のため太陽光を利用したハイサイドライト用窓を設置している	4.0	0.50	-	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用	外部に窓を設け採光及び通風を確保している	4.0	0.50	-	-	-
3 設備システムの高効率化			2.3	0.43	-	-	2.3
3a	集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)		2.3	-	-	-	-
3b	集合住宅の評価		3.0	-	-	-	-
4 効率的運用			4.0	0.29	-	-	4.0
4.1	モニタリング	エネルギー消費量を把握して分析し妥当性を確認している	4.0	0.50	-	-	-
4.2	運用管理体制	ISOシステムにより運用・維持・保全の基本方針を計画している	4.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1	節水		3.0	0.40	-	-	-
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	-
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.5	0.63	-	-	3.5
2.1	材料使用量の削減	コンクリートFC30,鉄筋SD345,鉄骨SS400とする	4.0	0.07	-	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25	-	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.21	-	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生骨材(アスコ)の盛土及び路盤材利用	3.0	0.21	-	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	鉄骨と仕上材が容易に分別でき、それぞれに取り外す事が出来る	5.0	0.25	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.9	0.22	-	-	3.9
3.1	有害物質を含まない材料の使用	有害物質を含まない接着剤・シーリング材・塗料・床仕上材を使用	5.0	0.32	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.68	-	-	-
1	消火剤		-	-	-	-	-
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	-
3	冷媒	自然冷媒を使用しGWP50未満の冷媒を使用している	4.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2 地域環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	-
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	-
2.3	地域インフラへの負荷抑制		4.0	0.25	-	-	-
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
3	交通負荷抑制	路上駐車を発生させない為の適切な駐車場・駐輪場を確保	5.0	0.25	-	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制	分別回収が可能なストックスペースを設けている	5.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮			3.4	0.33	-	-	3.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-
1	騒音		3.0	0.33	-	-	-
2	振動		3.0	0.33	-	-	-
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	-
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	-
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制			5.0	0.20	-	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	屋外照明を出来るだけ削減し屋外広告照明は行っていない	5.0	0.70	-	-	-
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	外壁材は反射光を出来るだけ抑える材料を使用している	5.0	0.30	-	-	-